

## 学校安全担当者研修会における事故防止情報の提供

独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「JSC」）では、学校関係者・教育委員会担当者等の学校現場に関わる方を対象として、講習会・説明会を開催しています。

今回、仙台支所では大崎市教育委員会からの要請を受けて、令和4年6月16日（木）宮城県大崎市にある岩出山スコアハウスで開催された令和4年度大崎市学校安全担当者研修会（以下「研修会」）において、学校の管理下における事故防止と題して情報提供を行いました。今回は、その様子についてご紹介します。



研修会の様子

### 【研修会の紹介】

本研修会は、園児、児童生徒の安全確保のため、幼稚園・学校における学校安全教育（災害安全・交通安全・生活安全）の充実及び地域との連携に向け、学校安全担当者としての資質と指導力の向上を図ることを目的とし、大崎市立各小・中学校防災主任、安全主任、安全担当主幹教諭、大崎市立各幼稚園安全担当、防災担当等を対象として行われました。研修内容は、はじめに、JSCより統計情報から得られる災害の傾向や事例等について説明の後、「学校安全マニュアルの見直しについて」や「各校における安全点検の工夫について」のグループ討議が行われました。

【JSCからの情報提供】

前半は、全国と宮城県の幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等及び小・中学校における学校の管理下の災害に対し医療費の給付を行った災害共済給付のデータ（令和元年度）を基に、どのような災害発生の傾向があるか説明を行いました。

後半は、学校の管理下で実際に起こった遊具における災害や施設・設備の破損及び転倒による災害の事例を紹介し、再発防止を行った学校の取組事例についても紹介しました。

統計から災害の傾向をつかむ資料の一部

順位	小学校		中学校	
	全国	宮城県	全国	宮城県
1位	学校内 運動場・校庭 38.4%	学校内 運動場・校庭 38.0%	学校内 体育館・屋内運動場 38.2%	学校内 体育館・屋内運動場 39.3%
2位	学校内 体育館・屋内運動場 20.1%	学校内 教室 17.5%	学校内 運動場・校庭 31.1%	学校内 運動場・校庭 27.5%
3位	学校内 教室 15.4%	学校内 体育館・屋内運動場 17.1%	学校外 運動場・競技場 5.8%	学校外 運動場・競技場 6.6%

**JAPAN SPORT** (令和元年度災害共済給付データ(医療費))  
COUNCIL

2

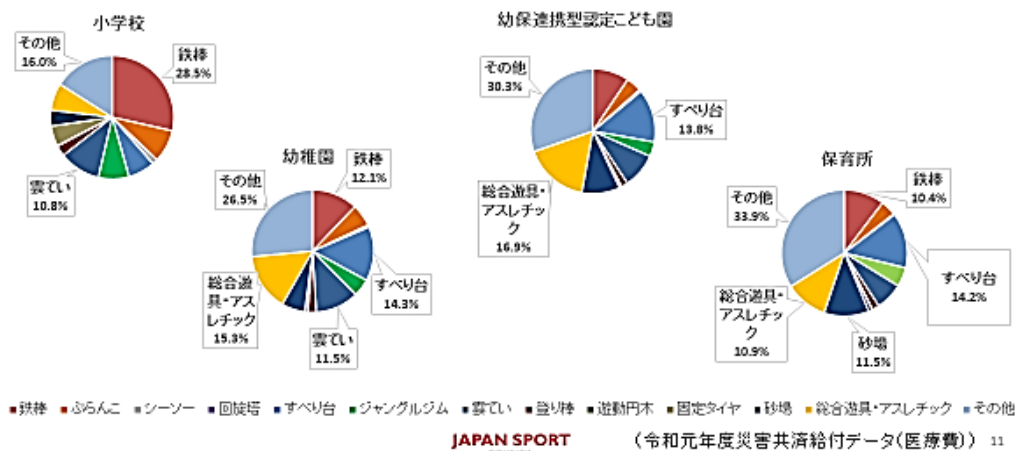
<小学校>

全国では、「運動場・校庭」が最も多く、次いで「体育館・屋内運動場」、「教室」が多い。宮城県では、全国と同様「運動場・校庭」が最も多く、次いで「教室」、「体育館・屋内運動場」が多い。

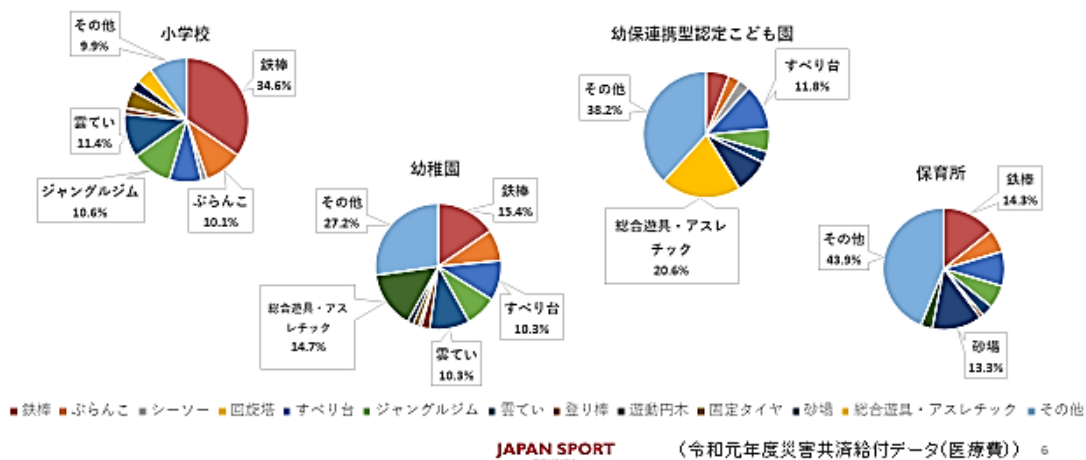
<中学校>

全国では、「体育館・屋内運動場」、「運動場・校庭」に多く発生している。次いで「(学校外)運動場・競技場」が多いが、小学校に比べ「教室」の割合がかなり少なくなっている。宮城県でも、全国と同様の傾向となっている。

## 小学校・幼稚園・幼保連携型認定こども園 保育所等どんな遊具で災害が多いのか(全国)



## 小学校・幼稚園・幼保連携型認定こども園 保育所等どんな遊具で災害が多いのか(宮城県)



### <小学校>

全国では、「鉄棒」が最も多く、次いで「雲てい」が多い。宮城県でも、「鉄棒」が最も多く、次いで「雲てい」、「ジャングルジム」、「ぶらんこ」が多い。

### <幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等>

全国の幼稚園・幼保連携型認定こども園ともに、「総合遊具・アスレチック」が最も多く、保育所等では、「すべり台」が多くなっている。宮城県の幼稚園では、「鉄棒」が最も多く、次いで「総合遊具・アスレチック」が多い。幼保連携型認定こども園では、全国同様「総合遊具・アスレチック」が最も多い。保育所等では、「鉄棒」が最も多く、次いで「砂場」が多い。

## ●発生状況

保育中、児童らが考えて作ったブランコ(太鼓橋に縄跳び用ロープを2本かけてそれぞれを輪にし、そこに座面として長さ130cmの大型パネルを渡したもの)で遊んでいた。本児童がブランコに乗って遊んでいたところ、他の児童がそのブランコを回転させた。その際、ねじ上がっていくブランコのロープに被災児童の左手第2指が巻き込まれ、第三関節の部分からねじり取られるような形で切断された。



<左上写真>

ブランコの周囲に囲いがいないため、プランターを置き園児の侵入を防いでいるもの

<右下写真>

ブランコの鎖に指が入らないよう、ビニール製のカバーを付けたもの

【研修会に参加した先生方の感想】

- ・事例を交えお話を伺い、まさかそんな過程でけがをするのかという感想を持ちました。けがにつながる要因を可能な限り減らすこと、万が一のことが起こった時は早急

な対応策を講じ、繰り返さない工夫の大切さを改めて感じました。

- ・危険箇所については、安全点検等で把握しているものの、児童の遊び方によっては重大な事故に繋がることを、具体例を聞き、更に気を付けて見ていかなければならないと思いました。

#### 【今後作成を希望する資料・教材】

※研修会後に実施したアンケートでご回答いただいた一部をご紹介します。

- ・遊具の安全点検の仕方等詳しい資料
- ・具体的な事例とその後の対応・対策
- ・学校にひそむ危険について
- ・紙芝居
- ・Q & A型の冊子・本
- ・児童生徒に配布できるハンドブック

#### 【取材を終えて】

近年、児童生徒等が思わぬ事故に巻き込まれるケースが相次いで起きていますが、大崎市教育委員会では、そのような災害が万が一起きたときのために、自分ごととして考え、事前に準備し備えておられます。このような前向きな取組を行っていただける設置者や学校が増え、児童生徒等が安心して学校生活を送ることができることを願っております。

最後に、お忙しい中取材にご協力いただきました大崎市教育委員会の皆様、ご参加いただいた先生方、本当にありがとうございました。

J S Cでは、年4回、異なるテーマで作成している学校安全教材カード、事故防止の映像資料やパンフレット・ハンドブック等がたくさんあります。短時間の教職員研修や授業でもご利用いただけますので、是非ご活用ください。



1件の重大事故の裏には29件の軽微な事故  
と300件の怪我に至らない事故があると  
言われているよ！

#### 【お願い】

J S Cが提供している事故防止情報を活用している先生方がおられましたら、学校安全Webなどで共有したいと考えておりますので、担当地域事務所にご一報ください。お待ちしております。

<参考資料>

- ・ [学校の管理下の災害 \[令和3年版\]](#)

※研修では、令和2年版を使用していますが、最新は令和3年版となります。